

感染症情報 11月4日～10日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

| | | |
|------------|---------|------|
| ①感染性胃腸炎 | 717例(堺市 | 38例) |
| ②溶連菌感染症 | 357例(堺市 | 43例) |
| ③RSウイルス感染症 | 231例(堺市 | 8例) |
| ④伝染性紅斑 | 109例(堺市 | 10例) |
| ⑤手足口病 | 108例(堺市 | 8例) |

府下インフルエンザ定点301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 139例(堺市 14例)

感染症報告数は前週比7.8%減の1,780件であった。

報告数の第1位は感染性胃腸炎で、以下、溶連菌感染症、RSウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比較して1%増、堺市では16%減であった。溶連菌感染症は府下で前週と比較して10%減、堺市で60例→43例は28%減であった。RSウイルス感染症が府下で22%減、堺市は前週21例→今回8例であった。府下の定点あたりは1.51→1.17である。伝染性紅斑は府下で23%減、堺市で11例→10例であった。手足口病は府下で29%減、堺市で9例→8例であった。

インフルエンザが府下で前週106例→今回139例は31%増で、定点あたり0.35→0.46である。堺市では前週10例→今回14例であった。堺市の定点あたりは0.48であった。

麻疹の報告はなかったが、風疹が大阪市で1例あり、年始からの大阪府での累計は128例となった。